

Sustainable Development Goals Report

・グローバル指標に基づく世界全体の進捗評価

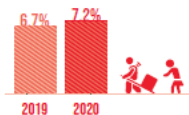
1 NO POVERTY

END POVERTY IN ALL ITS FORMS EVERYWHERE

MORE THAN
4 YEARS OF PROGRESS
= AGAINST POVERTY =
HAS BEEN ERASED
BY COVID-19



WORKING POVERTY
RATE ROSE FOR THE FIRST
TIME IN TWO DECADES



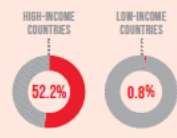
PUSHING AN ADDITIONAL
8 MILLION WORKERS
INTO POVERTY

RIISING INFLATION AND IMPACTS OF WAR
IN UKRAINE FURTHER DERAIL PROGRESS

NUMBER OF PEOPLE LIVING IN EXTREME POVERTY IN 2022



UNEMPLOYMENT
CASH BENEFITS
DURING THE PANDEMIC (2020)



DISASTER-RELATED DEATHS ROSE SIXFOLD IN 2020

LARGELY AS A RESULT OF THE PANDEMIC

12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION

ENSURE SUSTAINABLE CONSUMPTION AND PRODUCTION PATTERNS

UNSUSTAINABLE PATTERNS

THE CONSUMPTION AND PRODUCTION ARE ROOT CAUSE OF

TRIPLE PLANETARY CRISES



OUR RELIANCE ON
NATURAL RESOURCES
IS INCREASING

RIISING OVER
65% GLOBALLY
FROM
2000 TO 2019



TOO MUCH FOOD IS BEING LOST OR WASTED
IN EVERY COUNTRY EVERY DAY



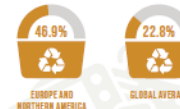
13.3% OF THE WORLD'S FOOD IS LOST AFTER HARVESTING AND BEFORE REACHING RETAIL MARKETS

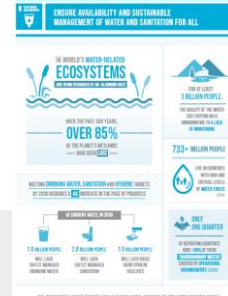
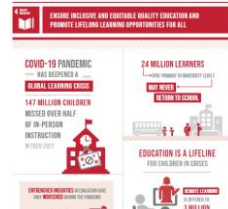
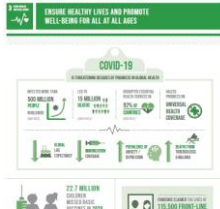


17% OF TOTAL FOOD IS WASTED AT THE CONSUMER LEVEL

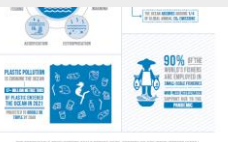
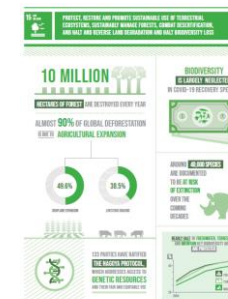
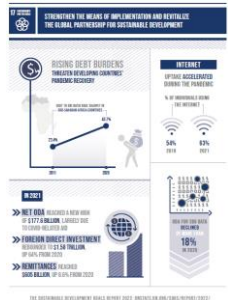
VAST MAJORITY OF THE
WORLD'S ELECTRONIC WASTE IS
NOT BEING SAFELY MANAGED

E-WASTE COLLECTION RATES (2019)

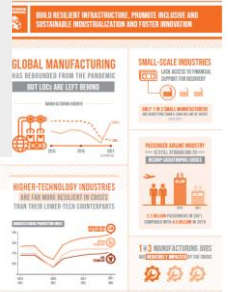




- コロナ禍、気候危機、ウクライナをはじめとする国際紛争等の相互関連するグローバル危機により、2030年までのSDGs達成は大きな危機に。緊急に救済（rescue）する努力が必要。
- コロナによる死者（直接の死因）は世界で540万人（2021年末時点、1500万人の死者超過）。
- コロナ以前と比べて2022年には7500～9500万人が新たに極度の貧困状態に。
 - 絶対的貧困率は上昇。10.1%(2015) - 8.6%(2018) - 8.3%(2019) - 9.2%(2020, 1998年以来初の上昇)
- 2020年には7億2000万人～8億1100万人が飢餓状態に。2019年から1億6100万人増加。
- 新たに1億人の子供が最低限の読解力その他の学力に不足。その結果、同世代の子供たちは合計17兆円の生涯収入損失。
- とりわけ失業、無報酬の育児や介護、家庭内暴力など、女性への影響大。
- 2021年には世界経済は回復を開始したものの、2021年末までに再びグローバル経済成長は鈍化。コロナの新たな株や不平等なワクチン普及、インフレ、サプライチェーン崩壊、政策的な不透明性、途上国における持続不可能な債務等の影響が大。
- 1945年以来最大の暴力紛争を経験、20億人が紛争の影響を受ける国に在住。ウクライナにおける戦争により、2022年のグローバル経済成長が0.9ポイント減少すると試算。
- 2021年には、石炭、石油、ガスへの需要増によりグローバルエネルギー関連CO2排出量は6.0%増加。
- 2021年には、推計1,700万トンのプラスチックが世界の海に。



国連事務総長
SDGs報告書
2022より





DISASTER-RELATED DEATHS ROSE SIXFOLD IN 2020



LARGELY AS A RESULT OF THE PANDEMIC



災害関連死6倍

GENDER-RESPONSIVE BUDGETING NEEDS TO BE STRENGTHENED

ジェンダーベースの予算策定実施は26%のみ



26% | COMPREHENSIVE SYSTEMS
59% | SOME FEATURES OF A SYSTEM
15% | LACKING MINIMUM ELEMENTS OF SUCH A SYSTEM

ALLOCATIONS (2019-2021)

1 IN 10 CHILDREN ARE ENGAGED

IN CHILD LABOUR WORLDWIDE



1億6千万人児童労働

160 MILLION TOTAL CHILDREN (2020)

INTERNET

UPTAKE ACCELERATED DURING THE PANDEMIC

% OF INDIVIDUALS USING THE INTERNET



54%
2019

63%
2021

インターネット利用者63%に増加

MEETING DRINKING WATER, SANITATION AND HYGIENE TARGETS BY 2030 REQUIRES A 4X INCREASE IN THE PACE OF PROGRESS

AT CURRENT RATES, IN 2030



1.6 BILLION PEOPLE WILL LACK SAFELY MANAGED

2.8 BILLION PEOPLE WILL LACK SAFELY MANAGED

1.9 BILLION PEOPLE WILL LACK BASIC HAND HYGIENE

SDGsターゲット達成には今の4倍の努力が必要

CORRUPTION IS FOUND IN EVERY REGION

ALMOST 1 IN 6 BUSINESSES HAVE RECEIVED BRIBE REQUESTS FROM PUBLIC OFFICIALS

6社に1社が公務員からのわいろ要求を受ける

10 MILLION



毎年1千万ヘクタールの森林喪失

HECTARES OF FOREST ARE DESTROYED EVERY YEAR

EDUCATION IS A LIFELINE FOR CHILDREN IN CRISES

MANY COUNTRIES ARE IMPROVING SCHOOL INFRASTRUCTURE AS CLASSROOMS REOPEN

GLOBALLY, PRIMARY SCHOOLS (2019-2020)



ELECTRICITY



DRINKING WATER



BASIC SANITATION



COMPUTERS



INTERNET ACCESS

多くの国でパンデミックを経て学校のインフラ改善

遠隔授業はウクライナの300万人の子どもたちへ



REMOTE LEARNING

IS OFFERED TO 3 MILLION UKRAINIAN CHILDREN IN THE CHAOS OF WAR (APRIL 2022)

日本の弱みは社会・環境のサステナビリティと経済の統合

経済力だと...

順位	国名	単位: 百万US\$
1	米国	20,932,750
2	中国	14,722,840
3	日本	5,048,690
4	ドイツ	3,803,010
5	イギリス	2,710,970
6	インド	2,708,770
7	フランス	2,598,910
8	イタリア	1,884,940
9	カナダ	1,643,410
10	韓国	1,630,870

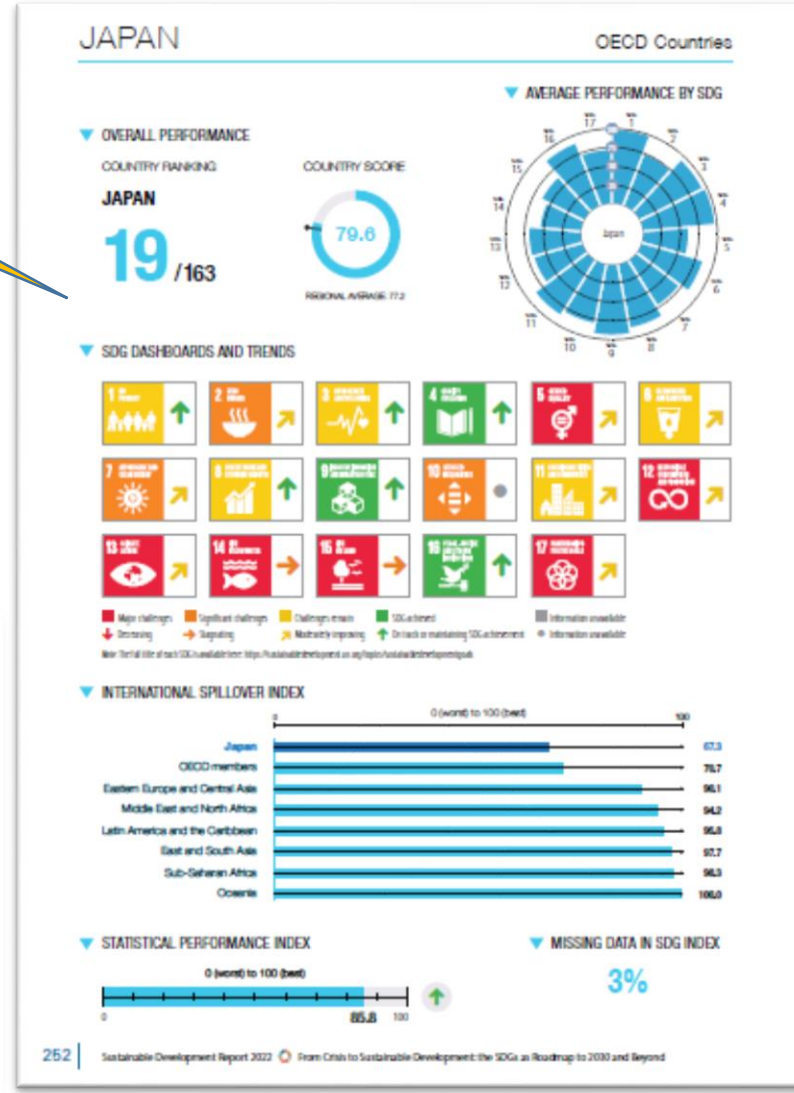
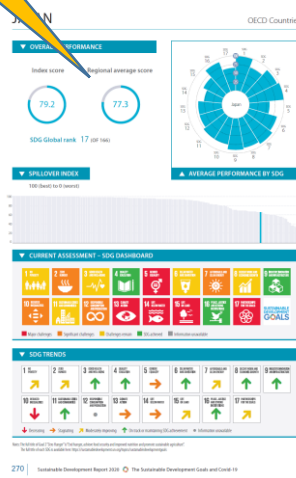
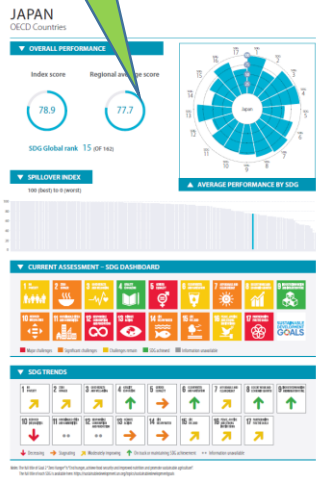
<https://dashboards.sdindex.org/profiles/japan>

2022
19位

2019
15位

2020
17位

2021
18位



ジェンダーギャップ指数（2022年）

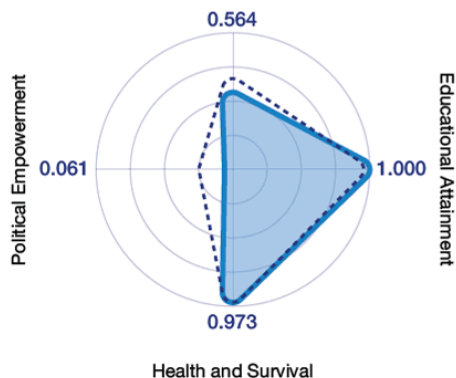
116位 / 146カ国

Economy Profile	Score (imparity = 0, parity = 1)	Rank (out of 146 countries)	Index Edition
Japan	0.650	116th	2022

Global Gender Gap Index 2022 Edition

■ Japan score ▤ average score

Economic Participation and Opportunity



Overview

Index and Subindex	2022		▼ 2021	
	Score	Rank	Score	Rank
Global Gender Gap Index	0.650	116th	0.656	120th
Economic Participation and Opportunity	0.564	121st	0.604	117th
Educational Attainment	1.000	1st	0.983	92nd
Health and Survival	0.973	63rd	0.973	65th
Political Empowerment	0.061	139th	0.061	147th

Global Gender Gap Index Indicators

2022

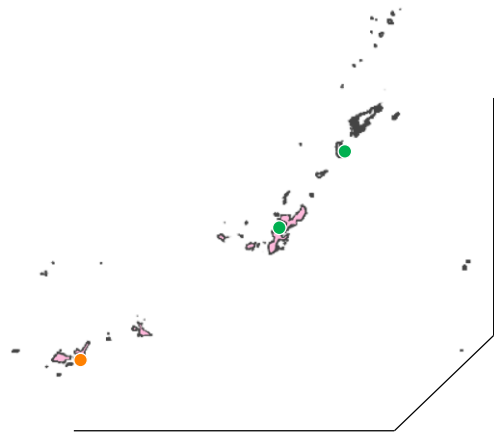
Compare with

Gap

Min

SDGs 未来都市等選定都市所在地

2022年度現在154都市



北陸・中部地方

2022年度：9都市（2）
2021年度：10都市（3）
2020年度：10都市（2）
2019年度：8都市（3）
2018年度：8都市（1）

北海道・東北地方

2022年度：3都市（1）
2021年度：4都市（1）
2020年度：4都市（1）
2019年度：2都市（1）
2018年度：7都市（2）

中国・四国地方

2022年度：4都市（1）
2021年度：2都市（1）
2020年度：5都市（2）
2019年度：3都市（1）
2018年度：5都市（1）

関東地方

2022年度：5都市（2）
2021年度：7都市（2）
2020年度：3都市（1）
2019年度：6都市（1）
2018年度：4都市（3）

九州・沖縄地方

2022年度：5都市（2）
2021年度：3都市（2）
2020年度：5都市（1）
2019年度：6都市（3）
2018年度：3都市（3）

近畿地方

2022年度：4都市（2）
2021年度：5都市（1）
2020年度：6都市（3）
2019年度：6都市（1）
2018年度：2都市（0）

紫色：2022年度
桃色：2021年度
橙色：2020年度
緑色：2019年度
青色：2018年度

※都道府県が選定されている場合は全域を着色

※（）内は自治体SDGsモデル事業都市数

SDGs 未来都市等選定都市一覽

2018年選定(全29都市)	
都道府県	選定都市名
北海道	★北海道
	札幌市
	二セコ町
	下川町
宮城県	東松島市
秋田県	仙北市
山形県	飯豊町
茨城県	つくば市
神奈川県	★神奈川県
	横浜市
	鎌倉市
富山県	富山市
石川県	珠洲市
	白山市
長野県	★長野県
静岡県	静岡市
	浜松市
愛知県	豊田市
三重県	志摩市
大阪府	堺市
	十津川村
岡山県	岡山市
	真庭市
広島県	★広島県
山口県	宇部市
徳島県	上勝町
福岡県	北九州市
長崎県	壱岐市
熊本県	小国町

2019年選定(全31都市)	
都道府県	選定都市名
岩手県	陸前高田市
福島県	郡山市
栃木県	宇都宮市
群馬県	みなかみ町
埼玉県	さいたま市
東京都	日野市
神奈川県	川崎市
	小田原市
新潟県	見附市
富山県	★富山県
	南砺市
石川県	小松市
福井県	鯖江市
愛知県	★愛知県
	名古屋市
	豊橋市
滋賀県	★滋賀県
京都府	舞鶴市
奈良県	生駒市
	三郷町
	広陵町
和歌山県	和歌山市
鳥取県	智頭町
	日南町
岡山県	西粟倉村
福岡県	大牟田市
	福津市
熊本県	熊本市
鹿児島県	大崎町
	徳之島町
沖縄県	恩納村

2020年選定(全33都市)	
都道府県	選定都市名
岩手県	岩手町
宮城県	仙台市
	石巻市
山形県	鶴岡市
埼玉県	春日部市
東京都	豊島区
神奈川県	相模原市
	金沢市
石川県	加賀市
	能美市
長野県	大町市
岐阜県	★岐阜県
静岡県	富士市
	掛川市
愛知県	岡崎市
三重県	★三重県
	いなべ市
滋賀県	湖南市
京都府	亀岡市
大阪府	★大阪府・大阪市
	豊中市
兵庫県	明石市
	富田林市
岡山県	倉敷市
広島県	東広島市
香川県	三豊市
愛媛県	松山市
高知県	土佐町
福岡県	宗像市
長崎県	対馬市
熊本県	水俣市
鹿児島県	鹿児島市
沖縄県	石垣市

2021年選定(全31都市)	
都道府県	選定都市名
北海道	上士幌町
岩手県	一関市
山形県	米沢市
福島県	福島市
茨城県	境町
群馬県	★群馬県
埼玉県	★埼玉県
千葉県	市原市
東京都	墨田区
	江戸川区
神奈川県	松田町
新潟県	妙高市
福井県	★福井県
長野県	長野市
	伊那市
岐阜県	岐阜市
	高山市
	美濃加茂市
静岡県	富士宮市
愛知県	小牧市
	知立市
京都府	京都市
	京丹後市
大阪府	能勢町
兵庫県	姫路市
	西脇市
鳥取県	鳥取市
愛媛県	西条市
熊本県	菊池市
	山都町
沖縄県	★沖縄県

2022年選定(全30都市)	
都道府県	選定都市名
宮城県	大崎市
秋田県	大仙市
山形県	長井市
	戸田市
埼玉県	入間市
千葉県	松戸市
東京都	板橋区
	足立区
新潟県	★新潟県
	新潟市
石川県	佐渡市
	輪島市
長野県	上田市
	根羽村
岐阜県	恵那市
静岡県	御殿場市
愛知県	安城市
大阪府	阪南市
兵庫県	加西市
	多可町
和歌山県	田辺市
鳥取県	★鳥取県
徳島県	徳島市
	美波町
愛媛県	新居浜市
福岡県	直方市
熊本県	八代市
	上天草市
鹿児島県	南阿蘇村
	薩摩川内市

※各年度都道府県・市区町村コード順
 ※黄色網掛けは「自治体SDGsモデル事業」選定自治体
 ※★はSDGs未来都市のうち都道府県

パートナーシップ会議

□2022年国連SDGsサミット／実施指針改定へ向けた提言を検討する国民対話

□7月27日から年末までのプロセス：日本のターゲットや目標（進捗管理方法や実施の仕組みも含む）を2022年末までに円卓会議から推進本部へ提案する

- 第1回（7月27日）、第2回（10月下旬予定）
- 第1回と第2回の間、円卓会議外での様々な関連会議成果も吸収

□第1回会議の構成

- 分科会で個別課題の議論
- 第2全体会合（14：30～）で共有→中間取りまとめへ（幅広に論点を提示、可能であればターゲット案提示）

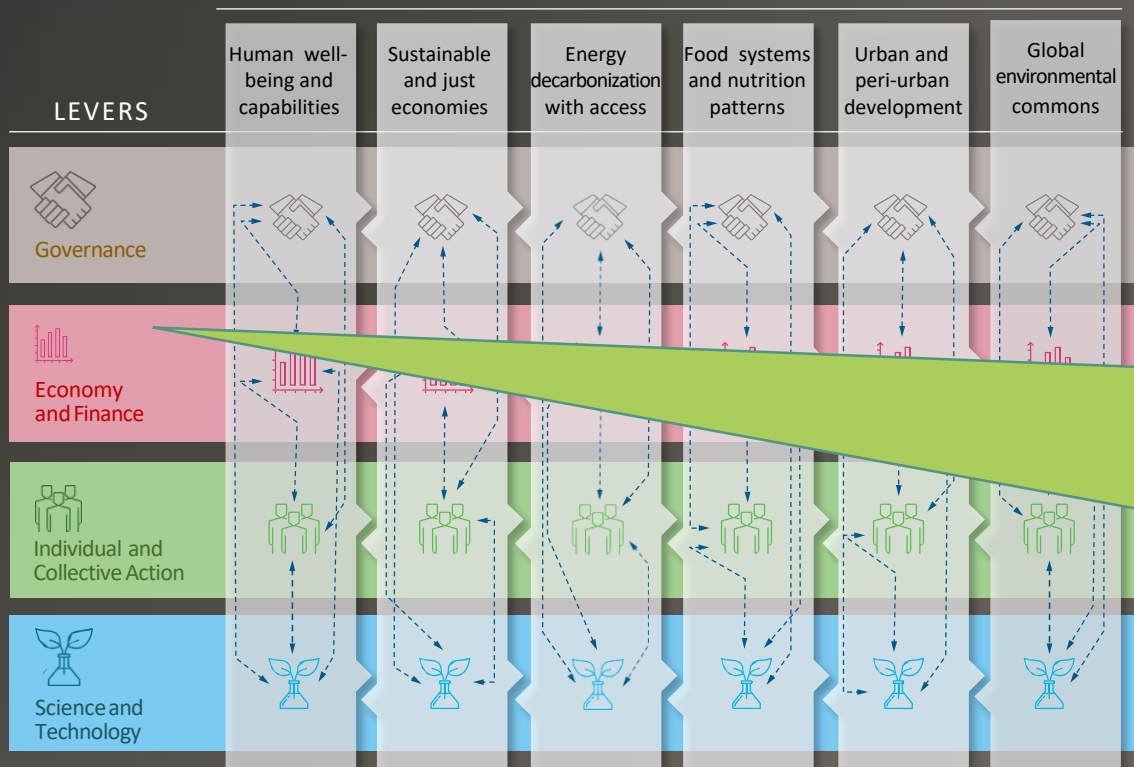


GSDR2023

Building on GSDR 2019 and going farther

“The Future is Now: Science for Achieving Sustainable Development”

ENTRY POINTS FOR TRANSFORMATION



“テコ”

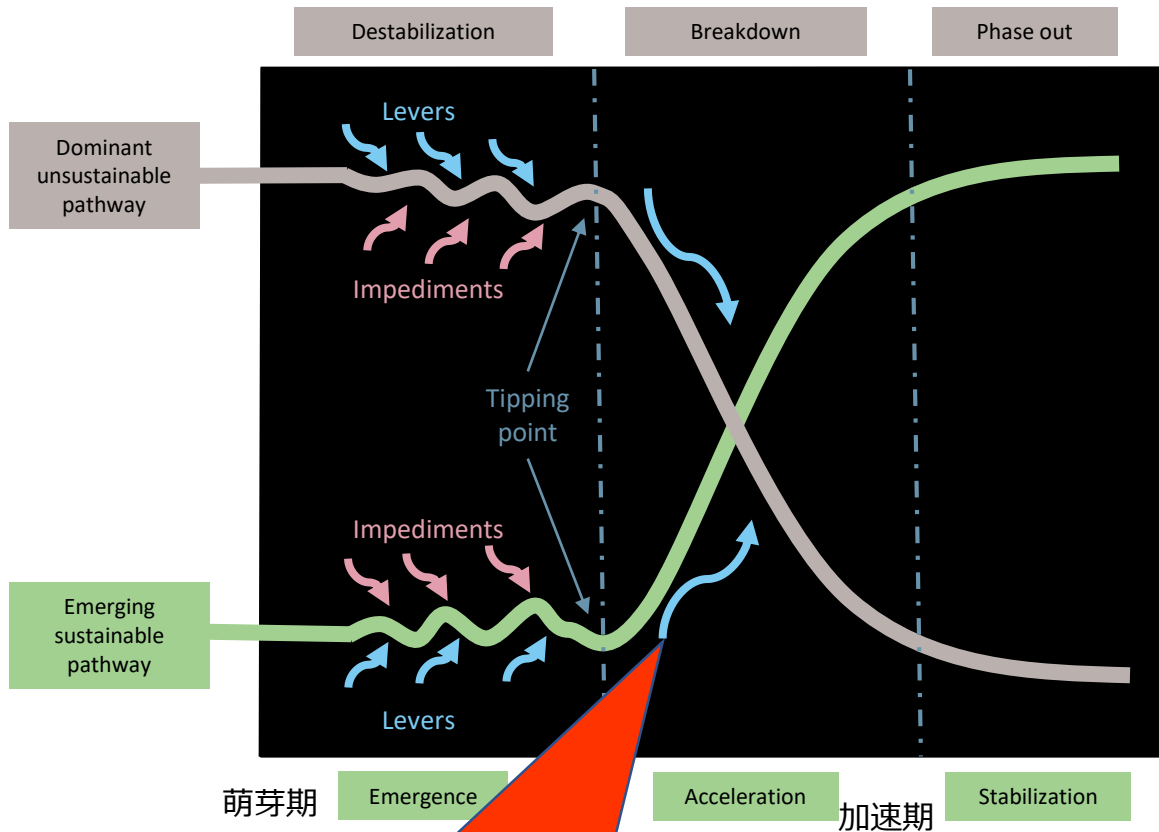
ガバナンス
経済と資金
個人と集団行動
科学技術

(GSDR2019より)

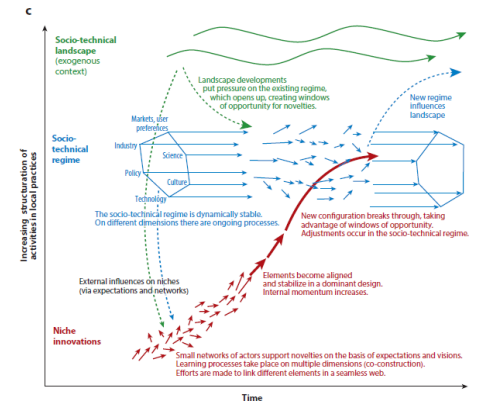
Pathways are context-specific configurations of levers to achieve transformation in each entry point

トランスフォーメーション（変革）をいかに進め広げるか

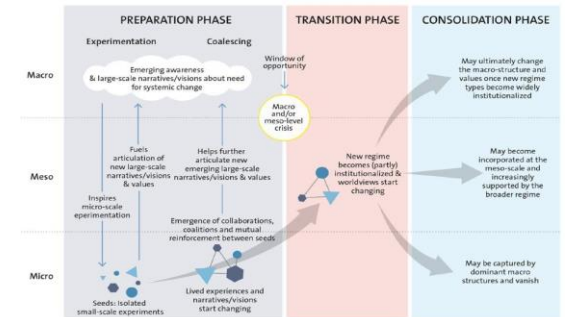
- 「Sカーブ」の各段階において具体的な形で、テコを押し上げる力とそのため“道具”を探求



活動を広げる
SNS活用、サプライチェーンへの影響、標準化、政策への影響



LOORBACH, D., FRANTZESKAKI, N. & AVELINO, F. 2017. Sustainability transitions research: transforming science and practice for societal change. *Annual Review of Environment and Resources*, 42, 599-626



FOLKE, C., POLASKY, S., ROCKSTRÖM, J., GALAZ, V., WESTLEY, F., LAMONT, M., SCHEFFER, M., ÖSTERBLOM, H., CARPENTER, S. R. & CHAPIN, F. S. 2021. Our future in the Anthropocene biosphere. *Ambio*, 1-36. <https://doi.org/10.1007/s13280-021-01544-8>